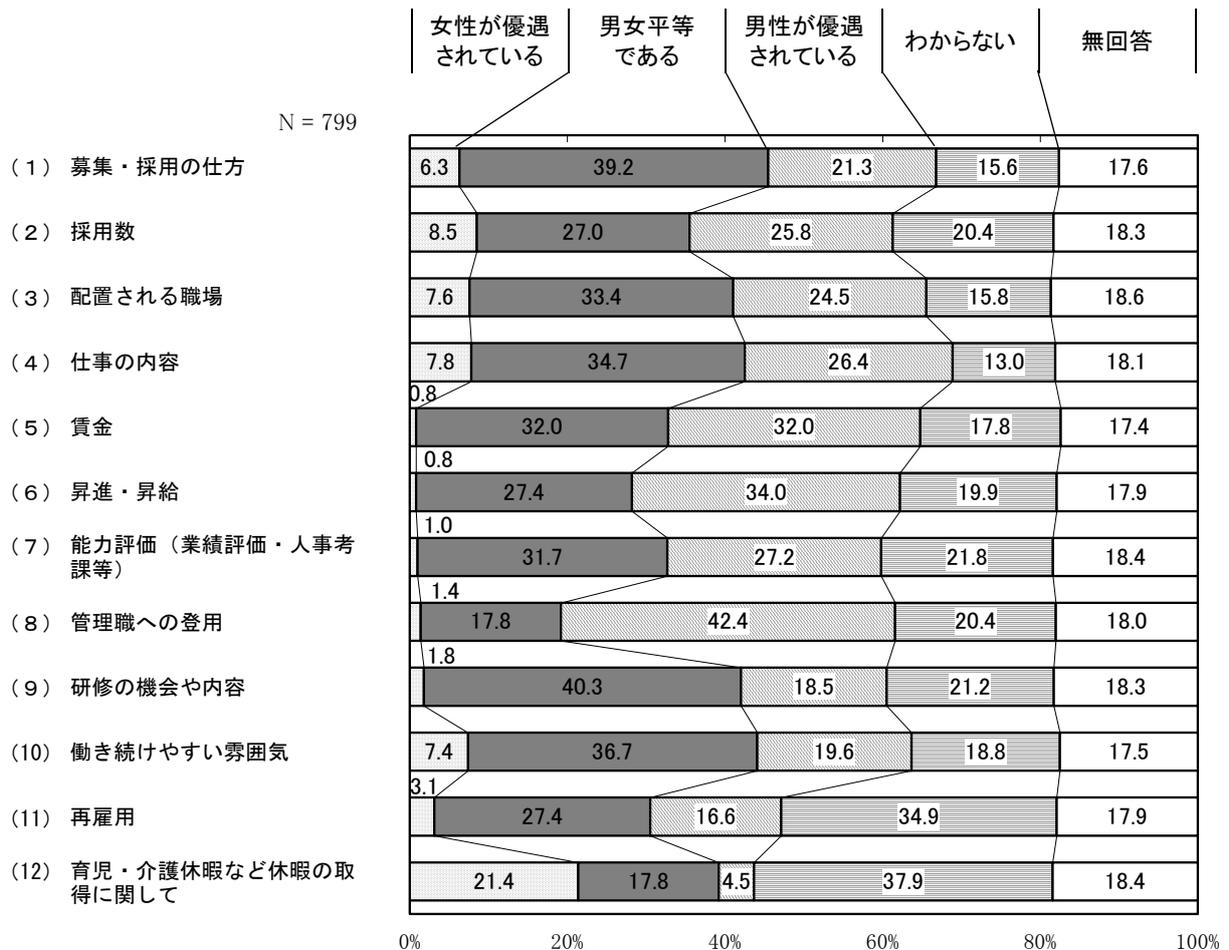


## 6. 仕事について

問 12 はこれまでに雇用されて働いたこと（家族従事者も含む）がある方がお答えください。

問 12 あなたの職場ではどのような状況ですか。（(1)～(12)のそれぞれについて〇は1つずつ）

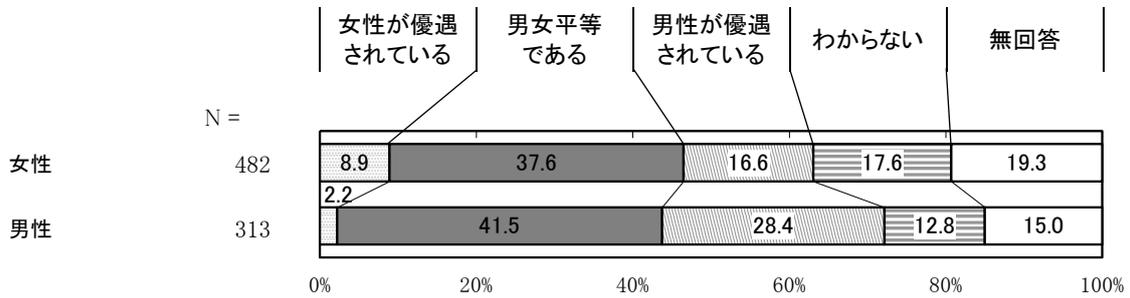
(8) 管理職への登用で「男性が優遇されている」の割合が高く、約4割となっています。また、(12) 育児休暇・介護休暇など休暇の取得に関して「女性が優遇されている」の割合が高くなっています。



### (1) 募集・採用の仕方

性別でみると、女性に比べ、男性で「男性が優遇されている」の割合が高く、約3割となっています。また、女性で「女性が優遇されている」の割合が高くなっています。

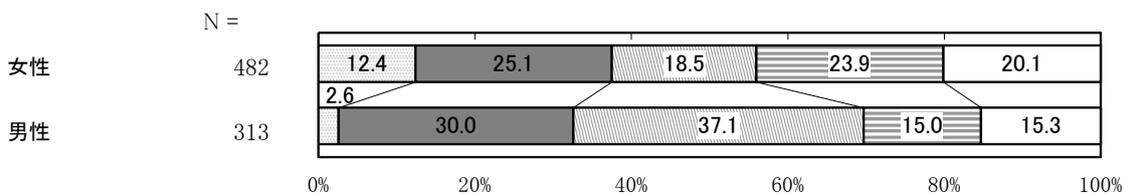
#### 【性別】



### (2) 採用数

性別でみると、女性に比べ、男性で「男性が優遇されている」の割合が高く、約4割となっています。また、女性で「女性が優遇されている」の割合が高くなっています。

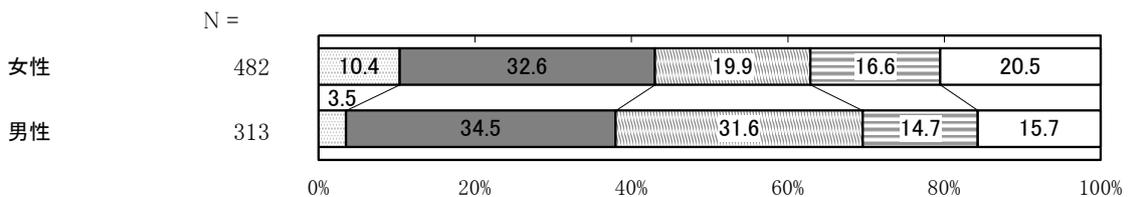
#### 【性別】



### (3) 配置される職場

性別でみると、女性に比べ、男性で「男性が優遇されている」の割合が高く、約3割となっています。また、女性で「女性が優遇されている」の割合が高くなっています。

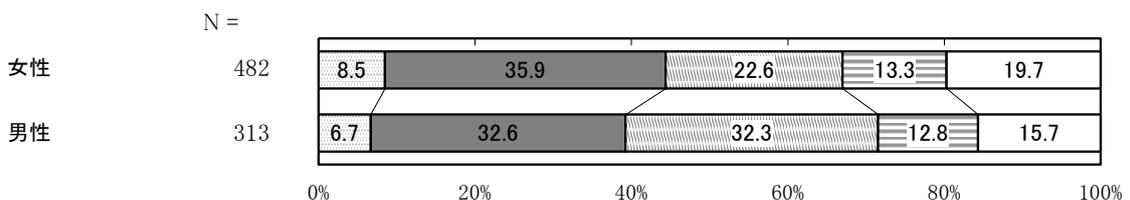
#### 【性別】



### (4) 仕事の内容

性別でみると、女性に比べ、男性で「男性が優遇されている」の割合が高く、約3割となっています。

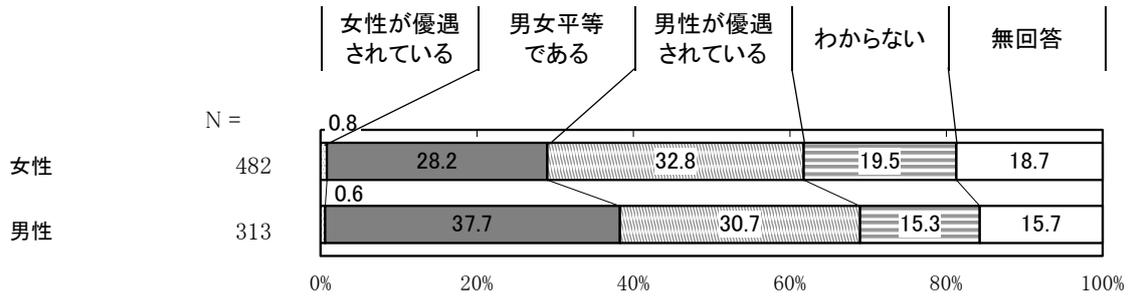
#### 【性別】



### (5) 賃金

性別でみると、女性に比べ、男性で「男女平等である」の割合が高く、約4割となっています。

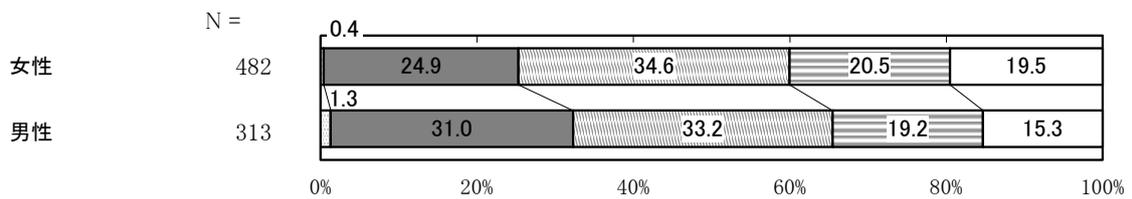
#### 【性別】



### (6) 昇進・昇給

性別でみると、女性に比べ、男性で「男女平等である」の割合が高く、約3割となっています。

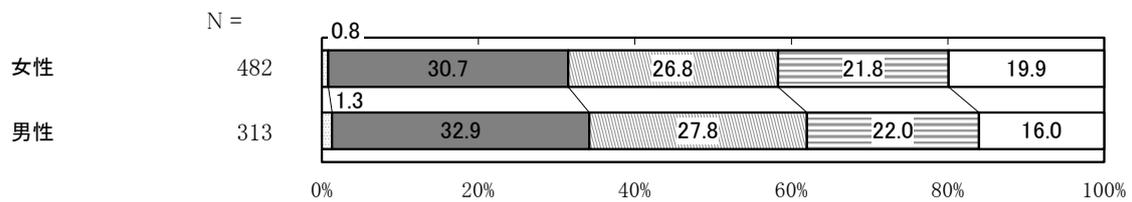
#### 【性別】



### (7) 能力評価（業績評価・人事考課等）

性別でみると、大きな差異はみられません。

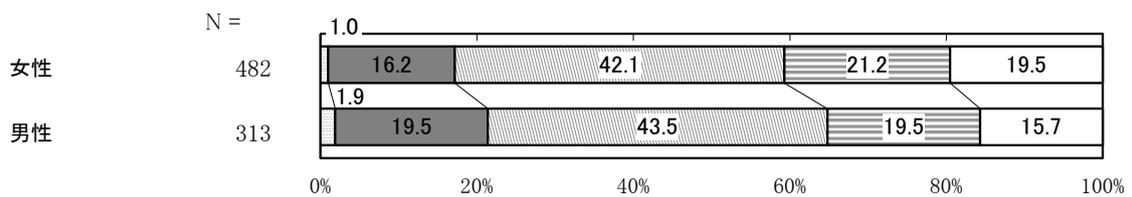
#### 【性別】



### (8) 管理職への登用

性別でみると、大きな差異はみられません。

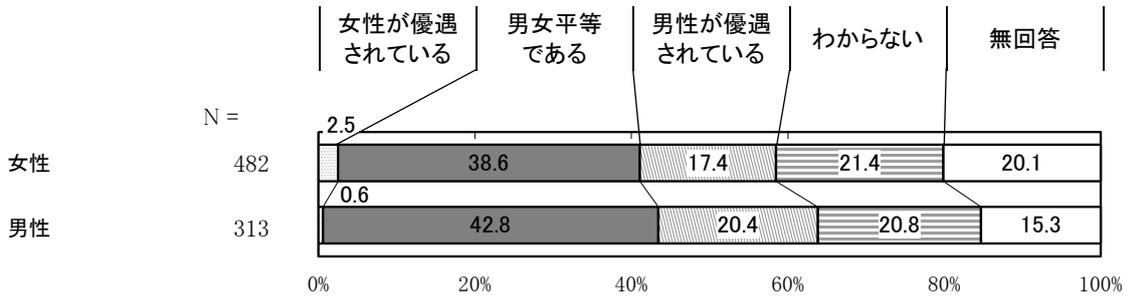
#### 【性別】



(9) 研修の機会や内容

性別でみると、大きな差異はみられません。

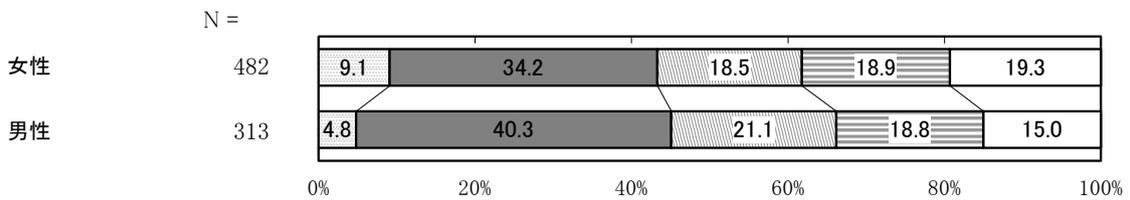
【性別】



(10) 働き続けやすい雰囲気

性別でみると、女性に比べ、男性で「男女平等である」の割合が高く、約4割となっています。

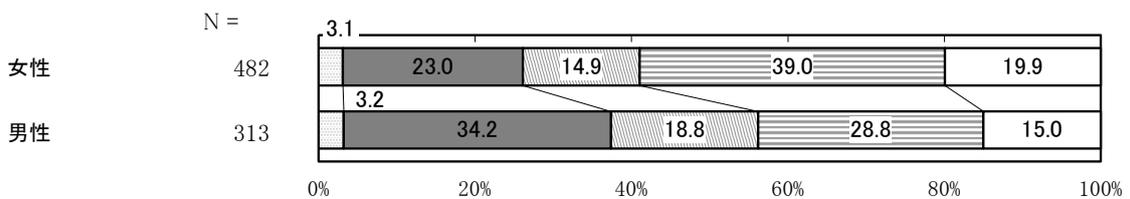
【性別】



(11) 再雇用

性別でみると、女性に比べ、男性で「男女平等である」の割合が高く、3割を超えています。

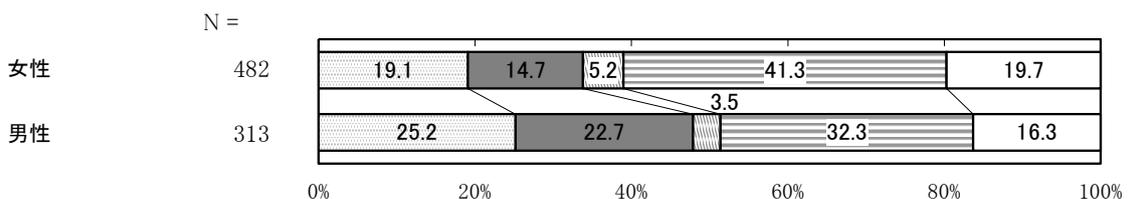
【性別】



(12) 育児・介護休暇など休暇の取得に関して

性別でみると、女性に比べ、男性で「女性が優遇されている」「男女平等である」の割合が高くなっています。

【性別】

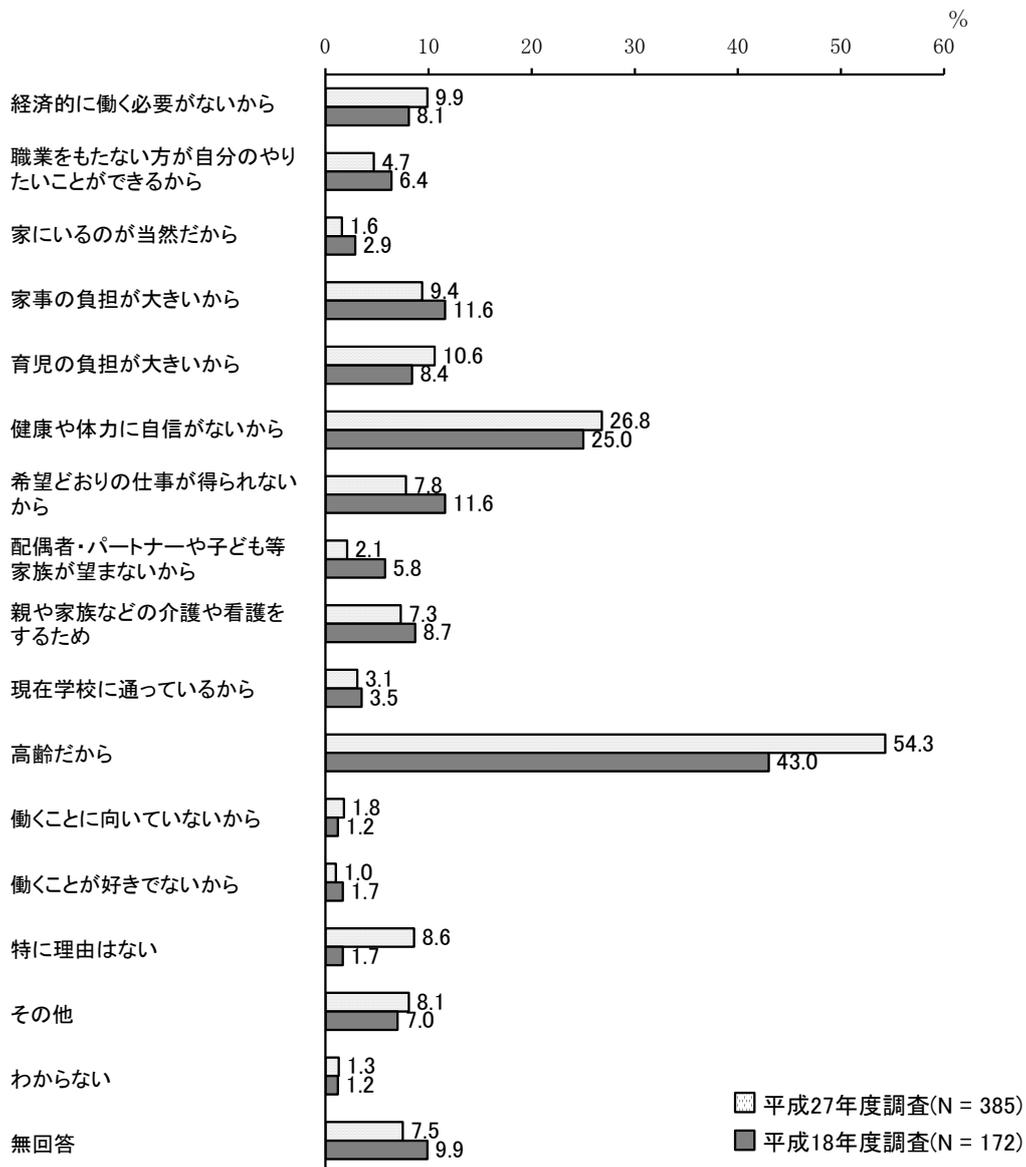


問 13～問 14 は現在仕事をしていない方がお答えください。

問 13 現在、仕事をしていないのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

「高齢だから」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「健康や体力に自信がないから」の割合が 26.8%、「育児の負担が大きいから」の割合が 10.6%となっています。

平成 18 年度調査と比較すると、「高齢だから」の割合が高くなっています。



性別でみると、男性に比べ、女性で「家事の負担が大きいから」「育児の負担が大きいから」の割合が高くなっています。

【性別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	経済的に働く必要がないから	職業をもたない方が自分のやりたいことができるから	家にいるのが当然だから	家事の負担が大きいから	育児の負担が大きいから	健康や体力に自信がないから	希望どおりの仕事を得られないから	配偶者・パートナーや子ども等家族が望まないから
女性	260	8.5	3.5	2.3	13.5	15.8	25.0	8.1	2.3
男性	124	12.9	7.3	—	0.8	—	29.8	7.3	1.6

区分	親や家族などの介護や看護をするため	現在学校に通っているから	高齢だから	働くことに向いていないから	働くことが好きでないから	特に理由はない	その他	わからない	無回答
女性	8.8	2.7	49.2	2.7	1.2	8.5	6.9	1.2	8.5
男性	4.0	4.0	64.5	—	0.8	8.9	10.5	1.6	5.6

性・年代別で見ると、他に比べ、女性の20歳代、30歳代で「育児の負担が大きいから」の割合が高くなっています。また、女性の40歳代、男性の60歳代で「健康や体力に自信がないから」の割合が高くなっています。男女ともに60歳代以上で「高齢だから」の割合が高くなっています。

【性・年代別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	経済的に働く必要がないから	職業をもたない方が自分のやりたいことができるから	家にいるのが当然だから	家事の負担が大きいから	育児の負担が大きいから	健康や体力に自信がないから	希望どおりの仕事を得られないから	配偶者・パートナーや子ども等家族が望まないから
女性 10歳代	8	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	12	8.3	—	—	33.3	75.0	8.3	—	—
30歳代	27	3.7	—	—	48.1	81.5	14.8	18.5	11.1
40歳代	25	20.0	4.0	—	20.0	28.0	48.0	24.0	4.0
50歳代	20	10.0	15.0	5.0	10.0	5.0	25.0	10.0	—
60歳代	52	13.5	5.8	—	7.7	3.8	28.8	11.5	1.9
70歳代	76	6.6	1.3	3.9	7.9	—	27.6	2.6	1.3
80歳以上	40	2.5	2.5	5.0	2.5	—	17.5	—	—
男性 10歳代	6	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40歳代	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—
50歳代	4	25.0	25.0	—	—	—	50.0	25.0	—
60歳代	34	23.5	14.7	—	—	—	47.1	11.8	—
70歳代	53	9.4	5.7	—	1.9	—	28.3	7.5	3.8
80歳以上	26	7.7	—	—	—	—	11.5	—	—

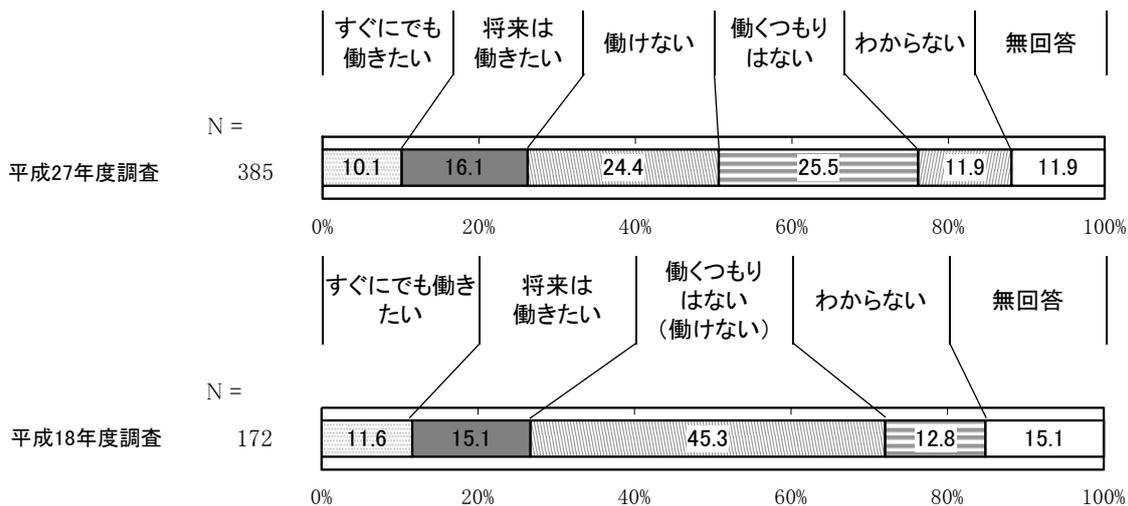
区分	親や家族などの介護や看護をするため	現在学校に通っているから	高齢だから	働くことに向いていないから	働くことが好きでないから	特に理由はない	その他	わからない	無回答
女性 10歳代	—	75.0	—	—	—	—	—	12.5	12.5
20歳代	—	—	—	—	8.3	—	16.7	—	16.7
30歳代	—	—	—	7.4	7.4	—	11.1	—	—
40歳代	12.0	—	—	4.0	—	8.0	24.0	4.0	4.0
50歳代	20.0	5.0	5.0	5.0	—	20.0	10.0	—	10.0
60歳代	19.2	—	51.9	—	—	9.6	1.9	—	15.4
70歳代	5.3	—	88.2	1.3	—	11.8	3.9	—	5.3
80歳以上	5.0	—	82.5	5.0	—	5.0	2.5	2.5	10.0
男性 10歳代	—	83.3	—	—	—	—	16.7	—	—
20歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
50歳代	25.0	—	—	—	—	—	—	—	25.0
60歳代	2.9	—	35.3	—	—	14.7	17.6	5.9	5.9
70歳代	3.8	—	84.9	—	1.9	11.3	9.4	—	3.8
80歳以上	3.8	—	88.5	—	—	—	3.8	—	7.7

**問 14 これから仕事につきたいと思いますか。(○は1つ)**

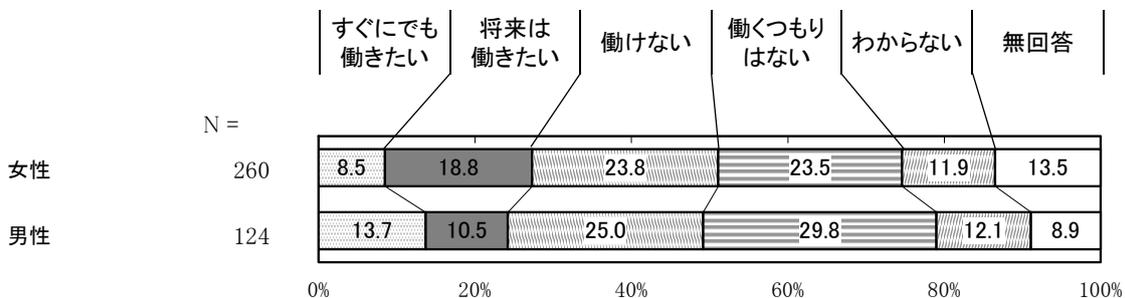
「働くつもりはない」の割合が25.5%と最も高く、次いで「働けない」の割合が24.4%、「将来は働きたい」の割合が16.1%となっています。

平成18年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。

性別で見ると、男性に比べ、女性で「将来は働きたい」の割合が高くなっています。また、男性で「すぐにでも働きたい」「働くつもりはない」の割合が高くなっています。

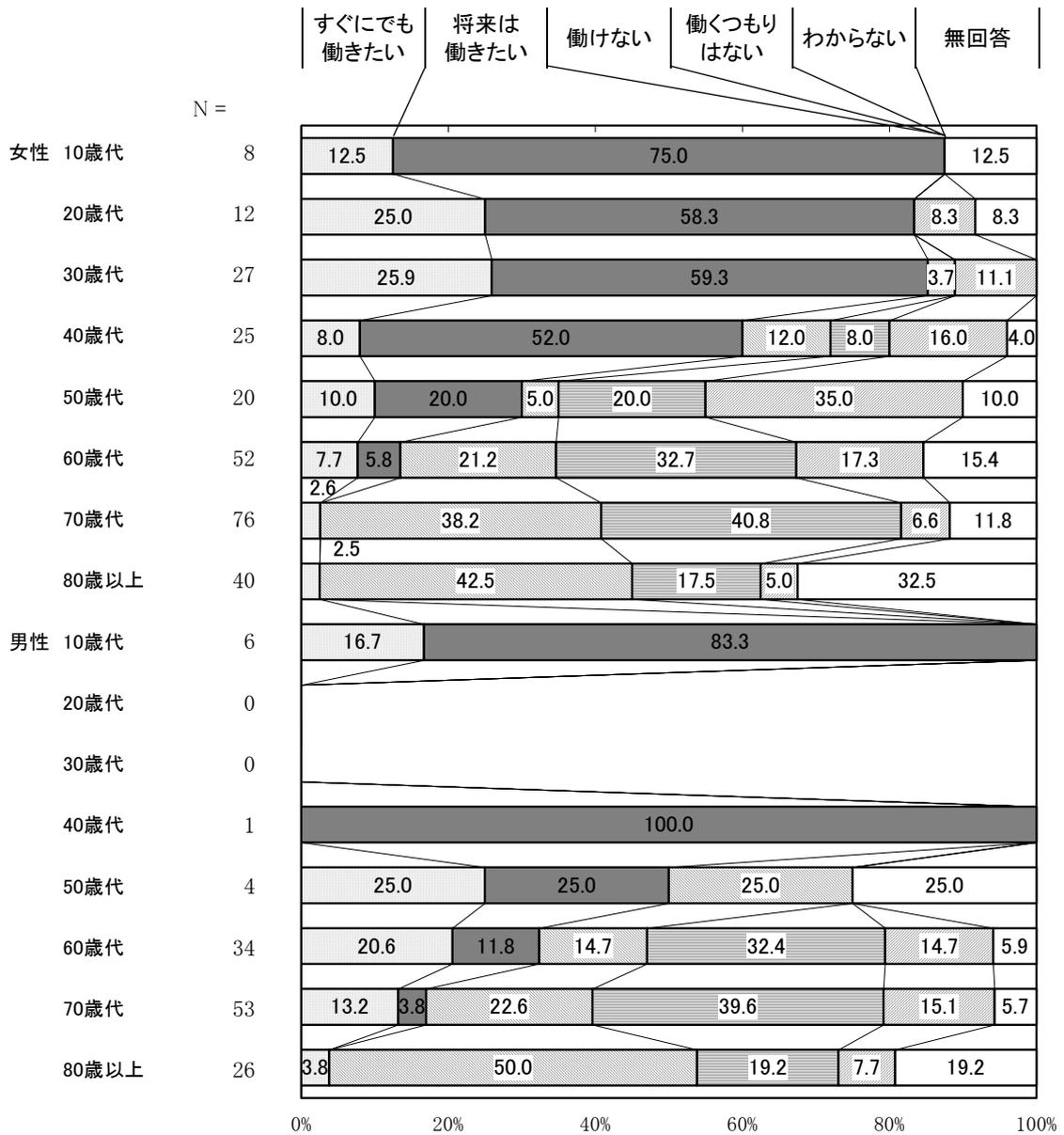


**【性別】**



性・年代別で見ると、他に比べ、女性の20歳代から40歳代で「将来は働きたい」の割合が高く、5割を超えています。また、男女とも70歳代で「働くつもりはない」の割合が高く、約4割となっています。

【性・年代別】



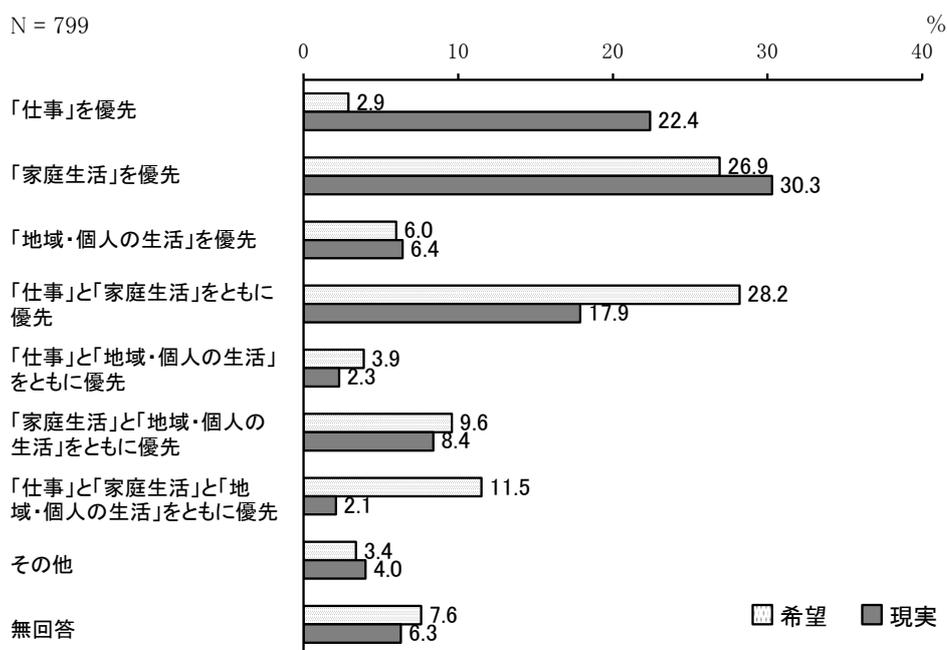
※男性20歳代、30歳代の方は全て働いていた。

すぐにでも働きたい
  将来は働きたい
  働けない
  働くつもりはない
  わからない
  無回答

問 15 あなたは、希望としてどのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

問 16 それでは、あなたの現実の生活に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

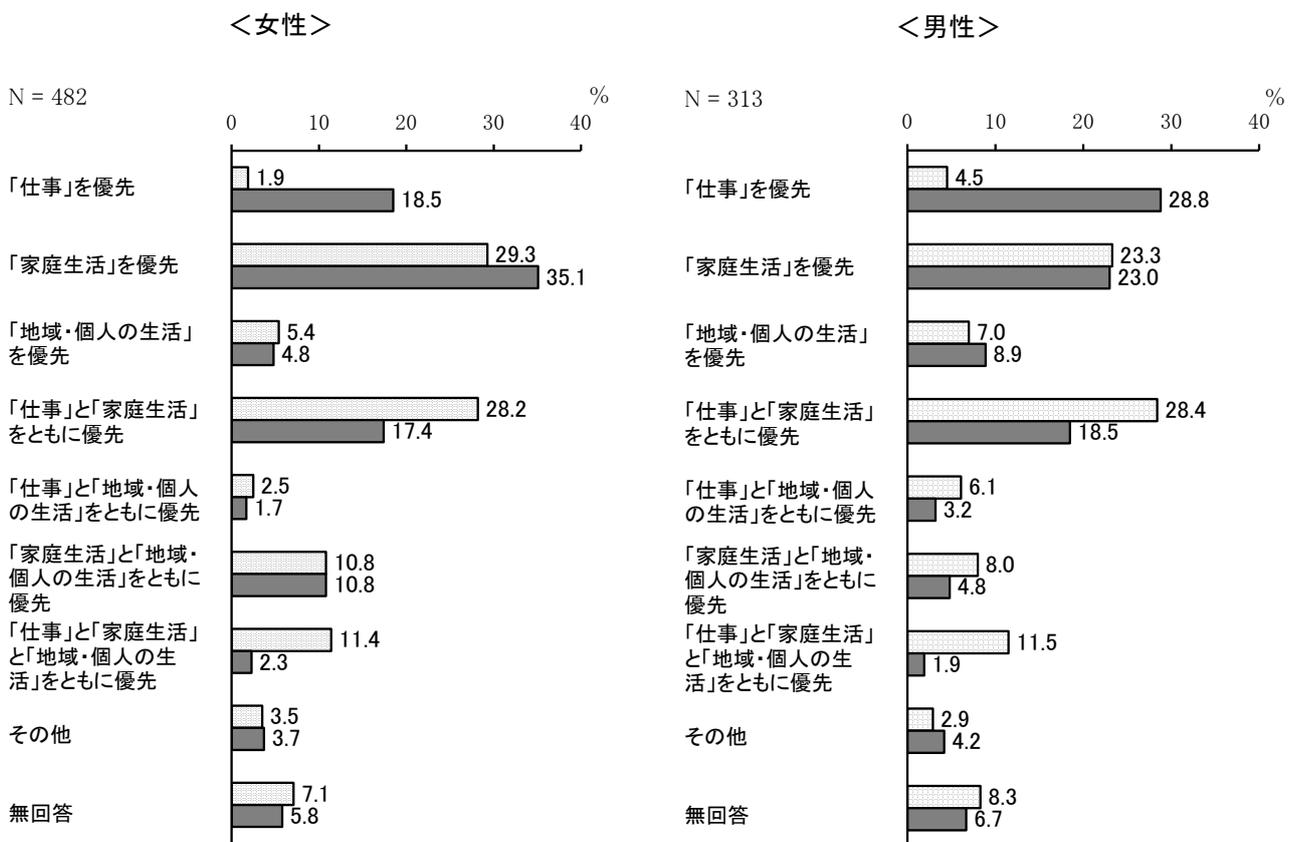
希望では、「仕事」を優先したいの割合が 2.9%と低くなっていますが、現実では 22.4%となっています。また、希望では、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したいの割合が 11.5%となっていますが、現実では、2.1%となっています。



性別でみると、女性では、「仕事」を優先したい」の割合が希望では1.9%となっていますが、現実では「仕事」を優先している」の割合が18.5%となっています。また、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」の割合が希望では28.2%となっていますが、現実では「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が17.4%となっています。

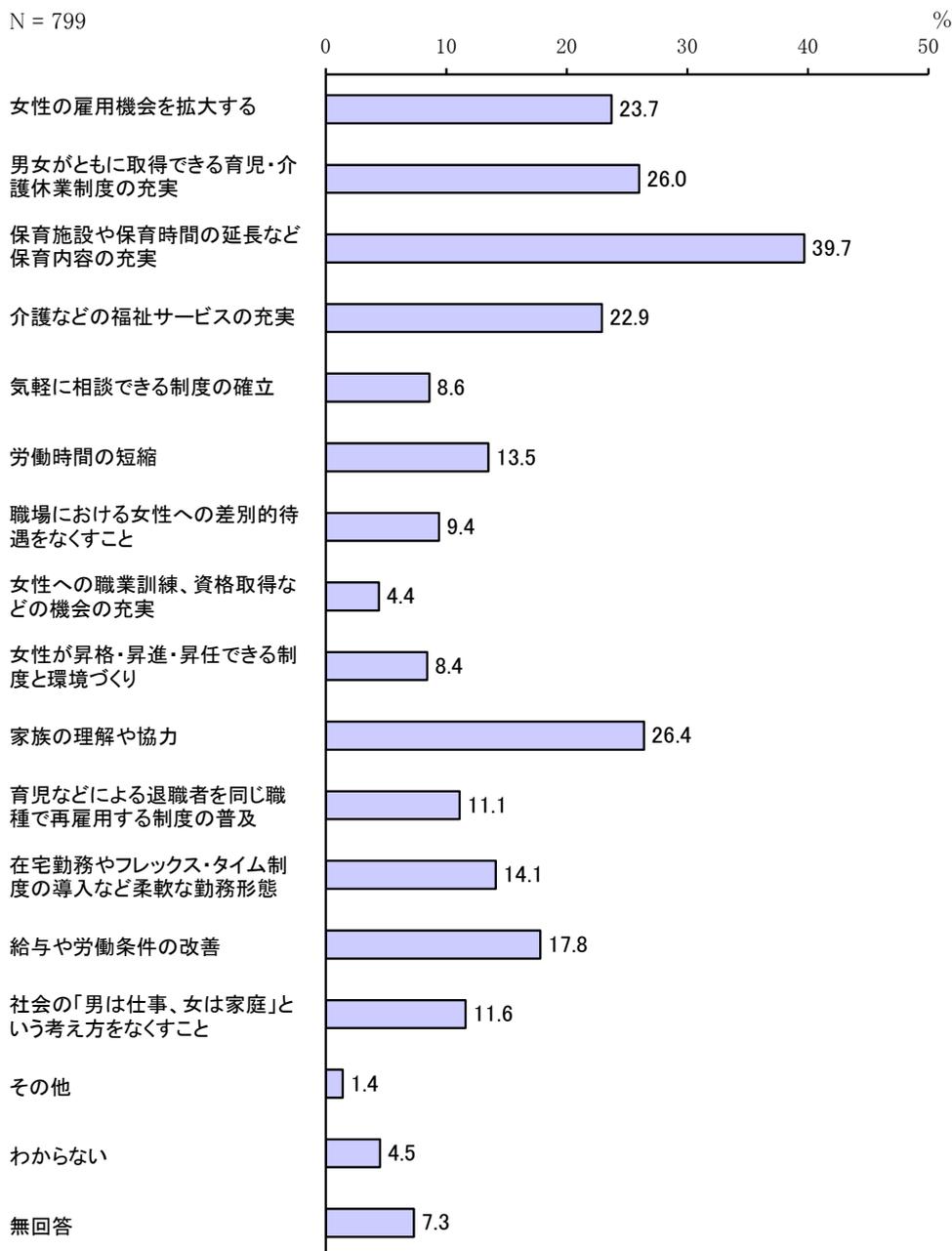
男性では、希望では「仕事」を優先したい」の割合が4.5%となっていますが、現実では「仕事」を優先している」の割合が28.8%となっています。一方、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」の希望では28.4%となっていますが、現実では「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が18.5%となっています。また、希望では「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」の割合が11.5%となっていますが、現実では「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している」の割合が1.9%となっています。

【性別】



問17 女性が働き続けるために、今後どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実」の割合が39.7%と最も高く、次いで「家族の理解や協力」の割合が26.4%、「男女がともに取得できる育児・介護休業制度の充実」の割合が26.0%となっています。



性別でみると、男性に比べ、女性で「家族の理解や協力」の割合が高く、約3割となっています。また、男性で「女性の雇用機会を拡大する」「保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実」の割合が高くなっています。

【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	女性の雇用機会を拡大する	男女がともに取得できる育児・介護休業制度の充実	保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実	介護などの福祉サービスの充実	気軽に相談できる制度の確立	労働時間の短縮	職場における女性への差別的待遇をなくすこと	女性への職業訓練、資格取得などの機会の充実
女性	482	21.0	26.6	37.3	24.3	10.0	13.1	7.7	5.4
男性	313	27.2	24.9	43.5	20.4	6.7	14.4	12.1	2.9

区分	女性が昇格・昇進・昇任できる制度と環境づくり	家族の理解や協力	育児などによる退職者を同じ職種で再雇用する制度の普及	在宅勤務やフレックス・タイム制度の導入など柔軟な勤務形態	給与や労働条件の改善	社会の「男は仕事、女は家庭」という考え方をなくすこと	その他	わからない	無回答
女性	8.1	29.0	11.6	14.3	17.4	13.3	1.0	4.6	7.1
男性	8.9	22.4	10.5	14.1	18.5	9.3	1.9	4.2	7.7

性・年代別でみると、他に比べ、女性の20歳代から40歳代、男性の20歳代から60歳代で「保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実」の割合が高くなっています。また、女性の50歳代、60歳代で「家族の理解や協力」の割合が高くなっています。

【性・年代別】

単位：％

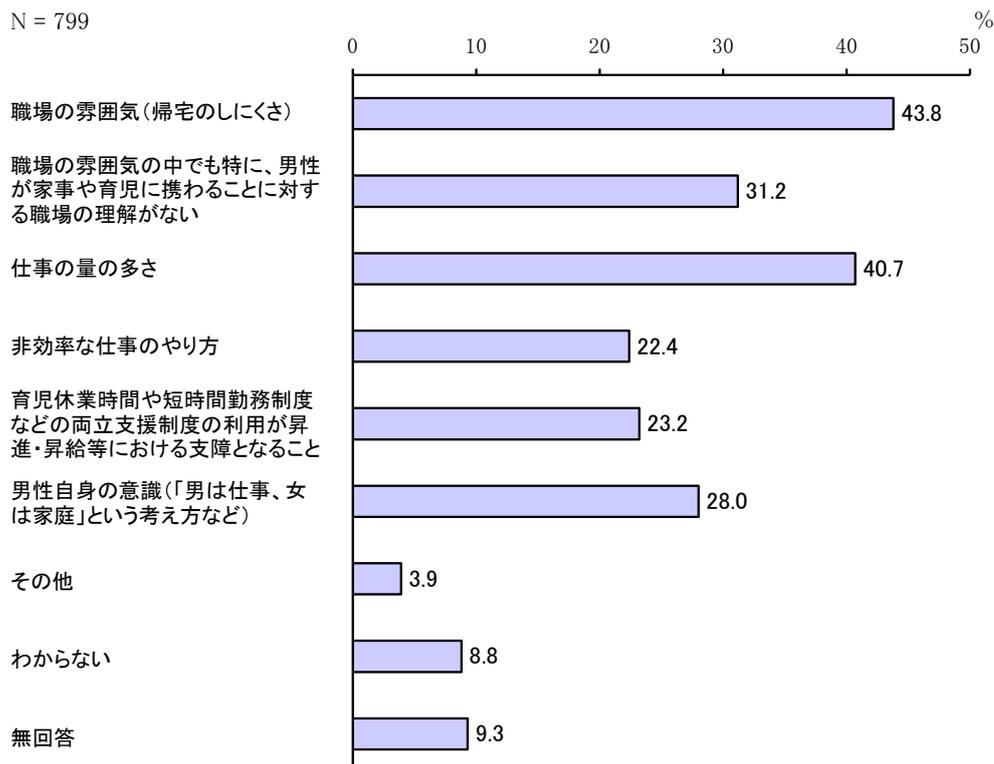
区分	有効回答数(件)	女性の雇用機会を拡大する	男女がともに取得できる育児・介護休業制度の充実	保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実	介護などの福祉サービス	気軽に相談できる制度の確立	労働時間の短縮	職場における女性への差別的待遇をなくすこと	女性への職業訓練、資格取得などの機会の充実
女性 10歳代	8	12.5	25.0	25.0	—	—	25.0	12.5	—
20歳代	37	16.2	40.5	70.3	—	5.4	27.0	5.4	5.4
30歳代	67	23.9	25.4	58.2	7.5	7.5	25.4	6.0	4.5
40歳代	72	13.9	15.3	44.4	25.0	9.7	16.7	8.3	4.2
50歳代	66	18.2	31.8	40.9	39.4	10.6	6.1	6.1	6.1
60歳代	98	23.5	32.7	31.6	31.6	11.2	9.2	5.1	7.1
70歳代	93	26.9	28.0	19.4	25.8	14.0	8.6	12.9	5.4
80歳以上	41	19.5	9.8	12.2	31.7	7.3	2.4	7.3	4.9
男性 10歳代	7	42.9	71.4	42.9	28.6	—	—	—	—
20歳代	23	47.8	21.7	56.5	8.7	17.4	43.5	13.0	—
30歳代	28	17.9	32.1	64.3	7.1	7.1	21.4	17.9	—
40歳代	47	21.3	27.7	46.8	17.0	10.6	14.9	6.4	4.3
50歳代	40	32.5	7.5	60.0	20.0	7.5	5.0	22.5	—
60歳代	71	29.6	26.8	45.1	25.4	5.6	8.5	19.7	2.8
70歳代	68	20.6	22.1	25.0	27.9	2.9	14.7	5.9	7.4
80歳以上	29	27.6	31.0	24.1	17.2	3.4	13.8	—	—

区分	女性が昇格・昇進・昇任できる制度と環境づくり	家族の理解や協力	育児などによる退職者と同じ職種で再雇用する制度の普及	在宅勤務やフレックスタイム制度の導入など柔軟な勤務形態	給与や労働条件の改善	社会の「男は仕事、女は家庭」という考え方をなくすこと	その他	わからない	無回答
女性 10歳代	37.5	—	50.0	12.5	12.5	25.0	—	—	—
20歳代	10.8	18.9	16.2	18.9	27.0	13.5	—	—	5.4
30歳代	9.0	25.4	10.4	16.4	16.4	9.0	3.0	3.0	7.5
40歳代	9.7	40.3	9.7	23.6	33.3	11.1	2.8	—	2.8
50歳代	9.1	42.4	7.6	16.7	13.6	13.6	1.5	1.5	4.5
60歳代	7.1	33.7	10.2	12.2	14.3	13.3	—	3.1	4.1
70歳代	3.2	20.4	12.9	9.7	14.0	19.4	—	7.5	8.6
80歳以上	7.3	17.1	12.2	2.4	4.9	7.3	—	22.0	24.4
男性 10歳代	14.3	28.6	14.3	14.3	—	14.3	—	—	—
20歳代	8.7	30.4	4.3	17.4	8.7	—	—	4.3	—
30歳代	3.6	32.1	14.3	14.3	21.4	—	3.6	3.6	—
40歳代	10.6	19.1	8.5	17.0	14.9	10.6	2.1	4.3	4.3
50歳代	12.5	37.5	10.0	12.5	12.5	10.0	2.5	—	7.5
60歳代	9.9	11.3	9.9	16.9	28.2	5.6	1.4	4.2	5.6
70歳代	7.4	20.6	14.7	11.8	22.1	16.2	2.9	5.9	10.3
80歳以上	6.9	20.7	6.9	6.9	10.3	13.8	—	6.9	27.6

問 18 男性の働き方について、長時間労働が顕著になっていたり、休みが取りにくいといった実情が見受けられますが、これらの原因は何にあると思いますか。(〇はいくつでも)

「職場の雰囲気（帰宅のしにくさ）」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「仕事の量の多さ」の割合が 40.7%、「職場の雰囲気の中でも特に、男性が家事や育児に携わることに対する職場の理解がない」の割合が 31.2%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「職場の雰囲気の中でも特に、男性が家事や育児に携わることに対する職場の理解がない」「男性自身の意識（「男は仕事、女は家庭」という考え方など）」の割合が高くなっています。



【性別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	職場の雰囲気(帰宅のしにくさ)	職場の雰囲気の中でも特に、男性が家事や育児に携わることに対する職場の理解がない	仕事の量の多さ	非効率な仕事のやり方	育児休業時間や短時間勤務制度などの両立支援制度の利用が昇進・昇給等における支障となること	男性自身の意識(「男は仕事、女は家庭」という考え方など)	その他	わからない	無回答
女性	482	44.2	36.5	37.8	20.5	26.8	33.0	1.9	10.0	10.0
男性	313	43.1	23.0	45.0	25.6	17.6	20.4	7.0	6.7	8.3